

ワークショップと作業部会の会合を開催しました

新たな小作業部会で開発したモニタリング・スーパービジョン・監査システムについて、関係者から意見を聞くため、7月18日にビンフック省でワークショップを開催しました。小作業部会のメンバーや保健省関係者、プロジェクト関係者のほか、ビンフック省の省レベル・郡レベルの病院の院長や看護部長等も参加し、協議を行いました。

ガイドラインに基づいて臨床研修制度を運用し、より良い研修にしていく仕組みであるモニタリング・スーパービジョン・監査のシステムは、とても重要であるということに関係者で共有しました。一方で、ベトナムにとって新しい取り組みであるため、「誰が何をしないといけないのかなどについて、よりわかりやすく記載した方が良い」という意見が出ました。また、研修実施に課題を抱える病院に、外部から専門家を派遣して課題解決を目指すスーパービジョンについては「ベトナム国内にアドバイスができる専門家が少ないので、専門家の育成も重要」という意見もありました。小作業部会はワークショップの意見を反映させ、モニタリング・スーパービジョン・監査システムガイドラインを修正しました。

そして、ワークショップのあと小作業部会の上位組織である作業部会を開催し、修正したガイドラインで試行開始することが承認されました。



ワークショップで説明をする開発を担当した
小作業部会のリーダー



作業部会の様子
試行開始が決まり、いよいよ臨床研修制度が動き出す